

間口の維持・確保に向けて・・・



【現状】

- 留萌管内唯一の普通科と職業科が存在する高校であり、留萌南部地域唯一の高校となる。
- 留萌管内から鉄路が消え、公共交通の選択肢が限られる。

市

『卓球・クロカンなどの越境入学生の受入』

留萌市学生移住応援助成金により、現在、卓球5人(3年1人、2年4人)、クロスカントリー6人(3年2人、2年1人、1年3人)、勉学1人(3年)の計12人を受入れし、家賃助成等を実施している。
※中学生3名(卓球)も受入れしている。



市 経済界

『再生可能エネルギーに対応できる人材育成』



重要港湾を有する地域特性を生かし、大水深を有する港湾施設などの産業インフラを結び付け、風車建設関連分野やメンテナンス産業の拠点としてもポテンシャルが高いことから、保守点検管理に従事する人材確保を見据えて、「電気科」の重要性が高まっている。

その他

『留萌市教育研究協議会(英語教育部会)による小中高連携』

英語教諭相互による授業参観やCAN-DOリストの共有化を図っている。

『部活動を目的とした羽幌・苫前方面からのニーズ』

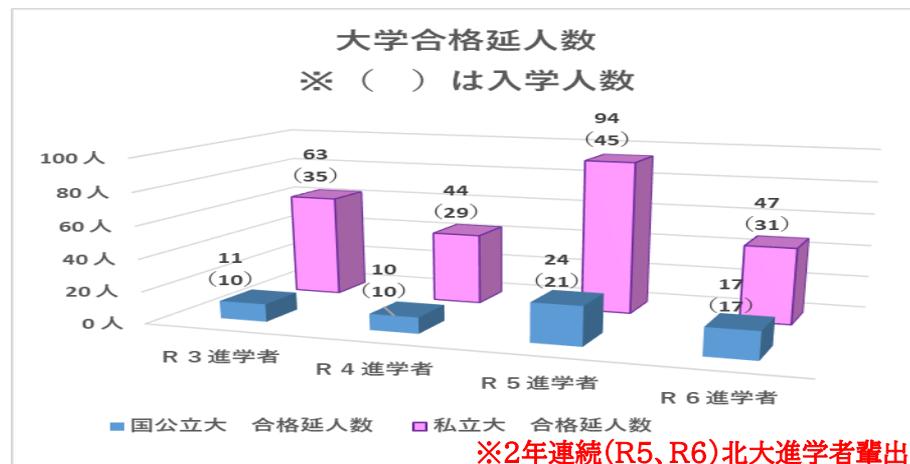
サッカーなどの団体競技を希望する生徒が毎年一定数入学しており、現在、13名(3年5人(羽幌町3人、苫前町2人)、2年4人(羽幌町2人、苫前町2人)、1年4人(羽幌町3人、苫前町1人))が遠距離通学している。

『不登校児童生徒対策・支援による進学率の向上』

令和5年6月に留萌市教育支援センターを設置、令和6年度からは不登校児童生徒に対する支援推進事業(道指定事業)として、留萌中に校内教育支援センターを設置して、多様な学びの場を確保している。

留高

『大学進学強化に向けた取組』



【これまでの取組】

- ・進学ガイダンス
- ・「物理」選択者のクラス⇒理系国立大学等を目指す生徒集団形成
- ・進路講習による学力向上(長期休業および平日)
- ・面接・小論文指導

【これからの取組】

- ・単位制の趣旨を生かした学習指導体制
- ・普通科の中でも、進学希望者には7時間授業を実施
- ・英語・数学の習熟度別少人数指導による基礎学力の向上
- ・全生徒・保護者対象とした進学ガイダンスによる早期の進路意識の醸成

地元中学生の留高進学率 (小平中・増毛中を含む)

R5進学者 71.7% ⇒ R6進学者 82.5% 10.8ポイントUP